

医療法人< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	医療法人社団 弘仁会 中根クリニック	事業所名	看護小規模多機能 さくらの花
所在地	(〒417 - 0855) 富士市三ツ沢 248-1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

運営主体が医療法人のため、医師が施設に来たり、医師と連絡が取れるようにもなっているため、緊急時にも安心できる環境となっております。季節感のある行事の企画、手作りの食を楽しんでいただき、医療と介護の連携をしながら、介護をおこなっています。館内は、ところどころに花をモチーフにしたモダンなしつらえを施し、広々として快適にお過ごしいただける施設となっております。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2021 年 12 月 7 日	従業者等自己評価 実施人数	(11) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2021 年 1 月 21 日	出席人数 (合計)	(8) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員 (5 人) <input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (___ 人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (1 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (___ 人) <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の家族 (1 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (___ 人) <input type="checkbox"/> その他 (___ 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		今年度開設のため、前回なし。		
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	今年度開設のため、前回なし。		
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	今年度開設のため、前回なし。		
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	今年度開設のため、前回なし。		
III. 結果評価 (評価項目 42～44)		今年度開設のため、前回なし。		

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	看護小規模多機能は新しい施設なので、多職種とともに勉強会をしてほしい。縦割り組織の連携システムを確立し、看護・介護の連携システムにつなげてほしい。 年間の研修計画の確認⇒弘仁会 本年度の年間計画表を提示。	「地域の人に信頼される医療と看護の提供」の理念のもと、看多機特有のサービスを意識し、実践に向け日々の業務を実行します。計画的に勉強会を行い、医療・看護・介護・リハビリ等の連携カンファを重ねサービスにつなげていく。	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	ご家族やご利用者の要望をしっかりと把握し、それらを取り入れた計画作成し、実行につなげているか。 施設の方針もしっかり伝えてほしい。 看多機の理解を深め、偏りのないサービスをし、常にご利用者の状態を把握し対応してほしい。	ご利用者、ご家族の思いを受け止めた計画作成に努め、介護・看護の情報を共有し、対策案を話し合っ実践・評価を重ね、連携をします。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	状態変化時だけでなく事前に対応方針を相談し、共有できているか。 多職種・他機関の共有方法に工夫の余地がありそうです。	状態変化時だけでなく、医療・看護・介護が定期的にご利用者お一人お一人の状態確認・把握をして対応させていただきます。 ご家族への報告・相談も常時させていただきます
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	家族との情報連携はどのように行っているか⇒必要時に連絡し、1カ月の活動内容を写真とともに報告しています。 人工呼吸器、痰吸引の受け入れ、看取り支援についての質問。	積極的な啓発活動を具体的に行い、地域の方々のご理解をいただく機会を作る取り組みをいたします。 ご本人・ご家族が住み慣れた地域で望まれる看取りに取り組みます。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	在宅での看取りの話し合いはどの程度できているか⇒利用開始時Dr.・Ns・ケアマネが同席し、ご家族にその時点での希望を聞き、さらに状態変化時も再度確認、話し合いを行います。	地域ケア会議や地域の行事に積極的に参加し地域の現状を把握し、果たすべく役割を明確にし、近隣住民に対する介護力の引き出しや向上のための活動をいたします。	